

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		○  事業所独自の理念は掲げていない。しかし、地域の公民館に行き、住民の方と交流したりしている。今後も継続していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		○  本人が地域の方と交流することを拒んでいる方もいるので、なかなか難しい。家族は理解してくれていると思われる。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	努めている。	○  隣接する近所がほとんどないので、気楽に立ち寄れる場所にはなっていないと思うが、声をかければ気楽に来ていただける地元住民はいるのでその関係を継続していきたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	域外でサービス事業を地域は行っており、そこに出かけて行く機会があるので、その時は出かけて行き、地域交流を行っている。また、先日、法人の夏祭りがあった時には、地域の方にも声をかけておこしいたいた。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民と交流し、互に行き気出来る関係を築いている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の改善点を反省し、今年に取り組んでいることもある。	○	まだまだ考えなければならぬことは、たくさんあるため、日々、検討、改善の毎日である。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		○	運営推進会議はおこなえているが、入居者へのサービスの検討よりも地域交流を目的としたものになっているのが現状である。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		○	市町村担当者と電話や訪問しての交流はあったとしても、会議での交流が持っていないのが現状である。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	基本的に家族の方がしっかりしている方ばかりなので、権利擁護の勉強をする機会がない。	○	しかし、職員のレベルアップのためにも機会があれば参加して学んでおく必要があると思う。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県より、研修の連絡があるが、なかなか参加の機会を得られない。	○	法人内での勉強会などに参加し、虐待について話し合う機会があっても、外部での勉強の機会がないので、今後、機会があれば参加し、勉強していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	はかっている。	○	入居後も、常に連絡を取り、疑問や希望に関しては、良く聞き、取り組んでいっているし、今後も取り組んでいきたいと思っている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人内の会議にて話をする機会がある。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に報告している。来訪時にも細かく報告しているし、請求書を送る時にも購入したもののレシートや行事の新聞などを作って発行している。	○	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に個々の家族の希望や不満など、十分に聞き、他の職員にも申し送りなどで送るなどして、入居者の生活がより潤うように努力している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を開き、行っていたが、勤務体制上、会議を持つ機会が無くなってしまったので、申し送りにて全員に伝達できるように十分に半紙をしている。	○	しかし、なかなか情報統一することが難しく、どのようにすれば伝達できるのか検討している最中である。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日々、努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者に義理回ただけのように、わかる方には話をしたり、みんなの前で挨拶をしたりしている。また、十分に配慮されている。</p>	
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>以前は、研修などにも職員に行かせていた。</p>	<p>○</p> <p>法人内のシステムが変わり、研修に行けない環境になってしまったところもあるので、必要な研修には参加できるよう、上司と交渉していきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>取り組んでいる</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>十分に相談できる環境を作っていると思う。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	毎日の声掛け、バイタルチェックなど、1対1での対応をし、話を聞く機会をつくっている	○	個室での生活なので、積極的に自室からでて、職員や他の入居者と話す機会を作りたい。 (行事やレクレーションを行う等)
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の申込時に、家族によく話を聞き、入居の時の契約で、不安な事や求めていることなどがっている。報告の電話を入れたり、ホーム内でのイベントや生活内容などについては、広報誌を発行したり、写真を撮ってお送りするなどしている。	○	ご家族と入居者がもっと触れ合えるような行事を考えていきたい。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前や入居の時に、アセスメントをし、援助方針をたてている。	○	訴えがないから、満足していると判断することなく、訴えがなくても様子をうかがい、普段の会話からも要望を読み取りながら実際のサービスにつなげていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と話し合い、了解を得たうえで、職員にも会議、申し送り等で伝達し、本人にも十分に話をしたうえでサービスを導入している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	すべて職員が判断し、事を行ってしまうのではなく、本人ができることとできないことを見極め、支援している。また、コミュニケーションも大切にしていく。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居されている方の家族とともに、本人を支え合う同士として、時に悩み相談し合い、話し合いながら支え合っている。	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族に施設への面会の際に、日常生活のことや心身の状況について報告している。	○  施設でイベントなどがある時には、家族に連絡し、参加を促すなど、楽しみの中からより良い関係をつくることのできるように心がけていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の公民館の行事に参加したり、地域の方々を招いて、行事を行い、ホームの方にもそれに参加していただくなど交流を大切にしている。	○  地元の方々が集まると、ホームに入居されている方を指しながら噂話をされる方もいる。そういうことを嫌う入居者がいるので、配慮しながら行っていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	9人いてもすべての方同士が気が合うわけではなく、気の合う同士で固まりやすいため、仲間外れができないように職員が配慮しながら、生活を支えている。	○  個室で過ごす時間が多いので、リビング、食堂への誘導を促し、会話し合える環境をつくれるよう心がけている。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	心がけている	○  退居された方はほとんどが隣接する老健やクリニックに入っている。その後の連絡が来ることが少なく、例えば、死亡したとしても連絡なしのまま、知らずに家族に連絡を取ったことがあるため、法人内での連携を確立していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の希望を取り入れ、食事、買い物等に出かける。困難な場合は家族に協力して頂いている。	○	一人ひとりの希望に合わせて生活しているが、集団生活の場でもあるので、希望の内容が聞ける範囲の限界もある。その時には本人や家族に話をし、ご理解いただいているが、なるべく希望通りの生活を叶えさせてあげられるよう努力していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後にも、生活歴やサービス利用歴をきいたりし、記録にとどめて、全職員が把握できるよう努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り、記録等で全職員が把握するようにし、その他、職員同士の日常会話から、入居者の日常の生活行動、会話などの情報交換を常に行い、情報の統一化を図っている。	○	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時や入居後に会議を開いたり、保険の更新の時期に会議を開くなどして、介護計画を立てている。	○	心身の状況が変化した時には、家族に連絡し、会議を持ってプランを変更していることもあり、今後も入居者の話を常に情報交換し、より良いサービスを提供できるようところがけていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に変化が生じた場合は、家族と反し合い、新しい計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別記録している。また、入居者の状態について、職員同士の申し送り、日々の会話にて情報交換を行い、介護経過に生かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設と協力し合っている。	○	同一法人でも十分に互いの情報を交換できず、また、部署が変われば、互いの業務内容を理解できてないところがあり、そのために、入居者に迷惑をかけてしまうこともあるので、十分注意しながら行っていきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	交流会や生きがいデイサービス、法人の夏祭りなどでついい気との交流があり、地域との行き来はある	○	本人の意向に基づくものではないと思う。しかし、入居していることを地域の方に知られたくないと思っている方もいると思うので、話し合いながら、必要と思う時には行っていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉用具関係について、福祉用具の業者さんと話あったりすることがある。	○	地域の他のケアマネジャーと関わる機会はほとんどないが、入居前にかかわっていたケアマネには連絡を取り、情報をいただくこともあるので、今後も続けていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	現状、行ってないないので、必要な事があった時には連携をとり合っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人の希望、家族の理解を得ながら併設クリニックへの受診を支援している（症状などの説明を本人に代わって職員が行う場合もある）。</p>	<p>○</p> <p>受診介助に伴い、治療方法や服薬の種類、診断の内容などはその都度、家族に連絡し、報告をしている。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の症状に変化が見られ、対応に困った場合など、併設クリニックの医師に相談、服薬調整などを行ってもらっている。</p>	<p>○</p> <p>併設クリニックの医師に相談はしているが、認知症専門医ではないため、適切なアドバイスをもらえる環境をもうけていきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員は配属されていないが、同法人内に勤務の看護職員が協力してくれる。入居者の体調の変化や相談をしたり等、入居者の健康管理について支援してもらっている。</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>併設クリニックに入院された場合には、時々、状態をうかがうため、面会に行き、本人と会話をしたり、看護師に病状を聞いている。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化までに至らない時点で家族に連絡、相談を行い、入院してもらうなどの対応を行なっている。</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化になった場合などは、併設クリニックへ入院してもらい、病院スタッフ及びグループホーム職員、家族を含めての反し合いにより、今後の方針を立てている。たいていの場合は、退居いただいているのが現状である。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	自宅で使用していた家具や使いやすいものを部屋に持ってきていただいたり、本人が環境の変化に慣れていただけるように、工夫をしたり、そのことについての話し合いを行ったりと心がけている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人を否定することなく、受け止めている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個人個人に合わせて対応できている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に添えるようこのペースやレベルにあわせながら対応している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入浴の際には、本人の着たいと思う服を選んでもらっている。また、身だしなみやおしゃれは本人の希望通りに支援し、利用は、希望がある理髪店へ出かけてもらっている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○	一日を穏やかに過ごしていただき、安眠できるように支援していききたいと思います。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	○	趣味や持っている力、できることを見出し、充実ある日を過ぎしていただけるように努力していきたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いをご本人たちから預かっているものと本人が管理しているものとあり、使用したい時には介助しながらおこなっている。</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望があれば、散歩や買い物などに出かけられるよう支援している。また、訴えのない方に対しても同様に行っている。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>利用者全員に対し、それぞれの希望に添い、外出の支援をしている。</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の希望の申し出がある時には、電話できるよう対応している。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>居心地よく過ごせるよう、気軽に来訪していただくことができるよう取り組んでいる。</p>		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>実施している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は利用者の安全確保のため、鍵をかけている。	
67	○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各個室のため、プライバシーは守られている。昼間は、食事やその他のことで声掛けに訪室したり、リビングや食堂でくつろいでいただいていた。夜間は巡視を行い、安全確認している。その際、睡眠を妨げないように心がけている。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じて、危険と判断した場合、家族の了解のもと、職員が保管・管理している	
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	居室の中はその人の心身の状態に応じて、家具の配置換えや交換、手すりの取り付け等、工夫しながら取り組んでいる。	
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		○ 訓練を定期的に行っていききたい。
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画書に基づき、実施している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>家族の方が、来訪されたときや本人の状態が変化した時などには、電話の連絡を入れるなど、常に家族にも本人の現状を知っていただけているように連絡を取っている。また、リスクについても十分に話し合っている。</p>	
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>バイタルチェック、食事摂取量、排泄の有無によっても把握することはできるが、行動、顔色、言動などからも健康状態を把握し、職員同士が情報を共有できるように、申し送り等で連携を図っている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬が処方された場合は、その目的、期間、用法、量など、症状とともに申し送りにて職員全員に伝え、把握するよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>服用しづらい錠剤などは、散薬などに変えていただくよう調整したり、症状の改善がみられない場合や副作用の心配もあるので、速やかに受診の体制をとっている。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎日、体操を行い、体を動かしている。排便の有無をチェックし、便秘になりやすい方には、水分補給を多めにしたり、散歩を促したりしている。</p>	<p>○</p> <p>疾患の症状から、排便困難になっている方もいる。その方には、隣接するクリニックにて、浣腸を試みている。または、服薬のコントロールも行っている。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>1日1回、夕食後に行っている。一人ひとりの状態に合わせて適切な介助の元、口腔ケアを実施している。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士による献立をもとにした食材のみを宅配、施設にて調理を行っているため、栄養バランスは保たれている。1日4回の水分補給、それ以外にも状況や希望により、水分補給を促している。</p>	<p>○</p> <p>水分のとれていない方は、声掛けをし、自力で飲めない時には水のみで対応している。本人の好みや健康状態により、飲み物の種類をかえ、一人ひとりに合わせた対応をしている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	時期に関係なく、必要に応じて、手洗い、うがいを入居者様及び職員全員で実施している。	○	感染対策委員会を行っており、同法人、他職種からの情報を得たり、マニュアルを作成している。
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理、調理用具の管理等も適切に対応できている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている		○	玄関のチャイムが、グループホームの出入り口より遠い所についているので、出入り口の横に置きたい。また、利用者にとっては、自由に出入りすることは、困難。近所の方も気軽に出入りできるとは言い難い。そのため、今後の工夫は必要である。
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者さなぶ「心地よく過ごして頂けるように、季節の花を植えたり育てたりしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで皆さんとお過ごしにならんれている。だいたいおひとりおひとりの席が決まっているので、そこでお話ししたり、一人でくつろいだりしてる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地がいいように、利用者様の思い思いの家具や好みのもを置き、冷暖房完備で快適に過ごされている。</p>	
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>行っている。</p>	<p>○</p> <p>居室は常に換気扇がついている。必要に応じて窓を開け、換気を行っている。</p>
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>○</p> <p>死角が多いため、転倒など、部屋で起きた時の発見が遅れることが多い。その分、昼間でも常に巡回し、発見が遅れないように心がけたい。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>混乱や失敗を防げるように気配りしている。</p>	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>野菜やお花作りをして楽しめるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>暑い日が続いているので、この季節は散布程度である。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

託児所が、建物内に設置されているので、入居者と子供たちが交流でき、お互い刺激にもなるし、子どもたちには社会勉強の場となっている。